

地域防災力を高めるための対応方針(案)

～地域防災力アンケート結果を踏まえた各市町からの意見～

強み	強みを更に伸ばす対応方針(案)	意見提出市町
(1) 自治会が実施する行事が多く、参加率が高い。	・防災に関する行事も実施されるよう自治会長に進言する。 ・広報等で活動を紹介し、自治会間の情報共有やモチベーションを高める。(以上 湖北町) ・地域の連帯力を高めるよう広報活動等を実施する。(高月町) ・多くの住民が参加する行事を、防災に関する情報を周知する機会として活用。(木之本町) ・自治会行事を今後も継続し、地域内での住民同士の連携強化を図る(余呉町) ・小規模の自治会では自治会役員との兼務はやむを得ないが、出来るだけ多様な住民での体制づくりを指導していく。 ・任期が1年の自治会では、2年で半数づつ改選するなど、経験等が引き継がれるような体制づくりを指導する。	米原市、虎姫町、湖北町、高月町、木之本町、余呉町、西浅井町
(2) 自主防災組織の役員は、専任が多く、任期も3年以上が多い		木之本町
(3) 自主防災組織の必要性を認識されている。	・自主防災組織の必要性について、啓発を継続する。(長浜市) ・全自治会に対して組織化を働きかける。(湖北町)	長浜市、湖北町
(4) 防災訓練の実施率が高く、参加者も多い	・ハザードマップを活用した実践的な訓練や、災害時要援護者への支援体制の整備を意識した取組が行えるよう指導していく。(湖北町) ・実施されていない自治会については、防災訓練の重要性を啓発する。(木之本町) ・訓練を継続して実施することにより、各個人の防災意識を高める。(余呉町)	湖北町、木之本町、余呉町
(5) 住民意識の高揚が必要であるという認識が高い	・町主催の研修会を実施し、意識高揚を図る。 ・自治会で研修会の開催や地域の災害事例紹介などにより意識高揚を図る。(以上 湖北町) ・研修会の実施、災害事例の紹介等を通じて、意識の高揚を図る。(高月町)	湖北町、高月町
(6) 過去の災害についての言い伝えや語り継ぎがなされている	・伝承手段を検討する	長浜市
(7) 万一の際情報伝達をしようとする意識が高い	・行政への伝達だけでなく(行政まかせでなく)、自治会内における情報伝達網の作成を指導する。	高月町
(8) 緊急時の一斉放送手段が確立されている	・防災無線は整備されているが、他の伝達方法も再確認していく。	木之本町
(9) 避難を呼びかける意識が高い	・避難誘導の連絡体制や、災害時要援護者支援体制の整備を図る(湖北町) ・要援護者のリストアップや緊急避難道路の確認等、避難誘導の質的向上を図る。(高月町)	湖北町、高月町
(10) 被災後の活動意識が高い	- 被災時における活動体制を指導 ・講習会等を開催し、知識と技能の習熟を図る。(以上 湖北町) ・戸たたきリストなどの作成を指導して体制を強化する。(高月町)	湖北町、高月町

弱み		弱みを補強する対応方針(案)		意見提出市町
(1) 自主防災組織が設置されていない自治会がある。		今後組織化に向け誘導していくが、県の市町総合補助金が改定されている中では難しい。(長浜市) ・組織のない自治会でも設置が必要と認識されており、意識啓発に努める。(木之本町)		長浜市、木之本町
(2) 行政からの指導により自主防災組織が設置されている自治会がある。		・行政から「組織図」「規約」「年間予定表」の作成を進言し、訓練や研修会を随時実施することにより、活動を伴った組織となるよう指導する。(湖北町) ・組織力に不安があるため、経験等を補うための訓練や研修会の実施を検討する。(高月町)		湖北町、高月町
(3) 自主防災組織の役員のほとんどが自治会役員であり、1年交代となっている。		・知識や経験が引き継がれるような体制整備を指導。(湖北町、高月町) ・任期2年で半期ずつ改選するなど、知識や経験が引き継がれるような体制整備を指導する。 ・自治会役員だけでなく、多様な住民で構成する体制となるよう、リーダー研修会を充実強化し、人材育成に努める。(以上 余呉町) ・任期や構成について、行政から要請等を行うことは現実的ではないので、地道ではあるが随時自治会役員等、地元のリリーダーに防災についての重要性を啓発する。(西浅井町)		湖北町、高月町、余呉町、西浅井町
(4) 防災に関する意識は高まりつつあるが、実際の取組につながっていない。		・自治会単位(いくつかつまとめて)での講習会や、訓練の慣行。(米原市) ・自治会内の各種団体が合同で避難訓練等を実施する。(虎姫町)		米原市、虎姫町
(5) 防災訓練のほとんどが消火訓練や地震を対象としたもので、水害を対象としたものではない。		・行政と自治会との連携の中で、水防に関する訓練の実施についても検討を行う。また、自治会への啓発活動も必要に応じて検討する。(長浜市) ・何らかの自治会事業の時に、話し合いや啓発を行う。(虎姫町) ・自治会などで水害に関する訓練を実施する。(高月町) ・近年洪水や土砂災害の危険性が高くなっていることから、多くの住民参加を呼びかけ、火災訓練等に合わせ水害に対する訓練も実施してもらう。(木之本町)		長浜市、虎姫町、高月町、木之本町
(6) 被災履歴のない自治会が多い		・経験不足が懸念されるので、実践的な訓練や研修会で災害事例を紹介する。(湖北町) ・経験がないことから危機管理意識に乏しいため、研修会や災害事例の紹介等を通じて意識高揚を図る。(高月町) ・防災、水防訓練に合わせ、水害に対する啓発を行う。(余呉町)		湖北町、高月町、余呉町
(7) 被災経験が継承されていない		・若い世代の参加率を上げ、知識や経験が語り継がれるような体制を作っていく。 ・伝承について記録を取り写真等で残す習慣を付けるよう指導する。(以上 湖北町) ・経験や語り継ぎ事項を伝える等の体制作り。 ・被災状況資料を人の集まる集会所等に設置する。(以上 高月町) ・被災経験者がおられるうちに被災記録を整理し、区民が情報を共有できる方法を工夫するよう指導する。(木之本町)		湖北町、高月町
(8) ハザードマップを詳しく見た人が少ない		・各自治会単位の説明会を開催する。また、自治会にアレンジしてもらい、自治会毎の危険度マップを作成してもらう。		湖北町
(9) 避難誘導の呼びかけが出来る人がいる		・自主防災組織の必修項目に位置づけ、連絡体制の整備を図る。		湖北町
(10) 土砂災害に関する関心が低い		・訓練や研修会を役員だけでなく、住民を巻き込んで開催する。(湖北町) ・研修会や訓練等の実施により土気の高揚を図る。(高月町)		湖北町、高月町
(11) 土砂災害の危険箇所がわかっていない		・HPでの情報提供やハザードマップで周知を図る。(高月町) ・土砂災害警戒区域等の基礎調査を早急に実施する。 ・ハザードマップを作成し、危険箇所を周知する。(以上 木之本町)		高月町、木之本町
(12) 土砂災害を対象とした訓練が実施されていない		・訓練の先進例を紹介し、県との連携により訓練を実施する。		高月町

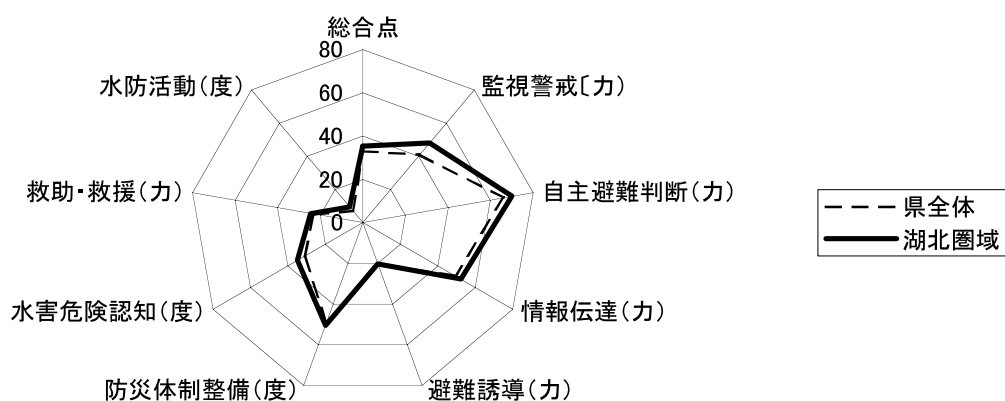
地域防災力診断結果について(水害編)

アンケート項目ⅢとⅣに基づき、内閣府で開発された方法により診断した結果は以下のとおり
4月以降、各自治会にも本診断結果を返送していきます。

◆湖北圏域全体の診断結果について

・いずれの項目も県平均を上回っているが、自主避難判断力が高く、水防活動度や避難誘導力が非常に低いという状況は、県全体と同様の傾向となっている。

	総合点	監視警戒〔力〕	自主避難判断〔力〕	情報伝達〔力〕	避難誘導〔力〕	防災体制整備〔度〕	水害危険認知〔度〕	救助・救援〔力〕	水防活動〔度〕
県全体	33	41	66	49	20	49	31	23	7
湖北圏域	35	48	70	52	20	50	35	25	9



◆自治会別診断結果について

・自治会毎に強みや弱みが異なっており、各地域の状況を県や市町が地域住民と共有認識しながら対策を検討していく必要がある。

